

《記者》

今日、環境省が来て事務方の説明はこれからだと思いますが、現時点で市長として、この今回の千葉市が選ばれたことについてどういうスタンスか、改めて教えていただきたい。

《小出市長》

市民の安心安全を守ること。これが市長としての私の使命でありますので、今回の説明では、市民の方々の不安が払拭されたということにはなっておりません。ですから、市原市のすぐ近くの場所に設置することについては、到底理解できるものではありませんから、今後も詳細な説明を求めていくと、そういうスタンスであります。

《記者》

現時点では受け入れられないという。

《小出市長》

そうですね。今日の説明をいただいたという状況ですので。

《記者》

その理由としてはやはり市原市から距離、住宅地とか、そういったものが近いからというのが一番大きいのでしょうか。

《小出市長》

はい。行政界でということで千葉市に説明に入られたんですが、2キロ、3キロ、5キロという範囲のなかで生活をしている、働いている人達が大勢いらっしゃるということですから、千葉市と同等の対応を図っていただく。これが今日出発点であろうと自分では思っています。

《記者》

千葉市の方は今後、今持っている自治体そのまま持つという分散のままで行ったほうがいいんじゃないかという声も出ているんですが、今後、千葉市の考えと、あと連携するかどうかとか、そのあたりどうお考えられているんでしょうか。

《小出市長》

千葉市とは情報は共有していくんですが、これは自主自立性をお互いに持ちながら、情報については共有をしていかなければいけないというふうに、考えております。

《記者》

政務官の今日の話聞いて率直な感想はいかがでしょう。

《小出市長》

今日の時点では第1回目の説明を伺ったということでもありますから、今後事務方に説明をいただきながら、これから市民に向けてどういうふうの説明をするかも含めて今後の対応になってくると思っております。

《記者》

市長のご発言のなかで、説明と詳細調査、それから建設というのを切り離して考えていくんだということでしたが、もう少しちょっと意図というか。

《小出市長》

私は選挙期間中にも申し上げておりましたが、全国規模の集中管理が望ましいと今でも思っておりますので、これについては一切変わっておりません。

《記者》

説明をもっとして欲しいということもありましたけれども、説明によって理解が深まれば、建設を容認するお考えもあるのか。それともずっと、少なくとも現状では受け入れられないところなのか、そのあたりはいかがでしょうか。

《小出市長》

そこまでの回答については、今日は控えさせていただきますけれども、説明を受けて行動が変わる、考え方が変わるとは今の時点では考えておりません。

《記者》

千葉市議会は議員さんにも環境省の方から説明があるんですが、議員さんの説明も求めていくということでしょうか。

《二田口市議会議長》

先ほどお話をさせていただいたとおり、市議会としましても十分な説明をいただいた上で、さまざまな質疑等もあるでしょうから、まずは不安を払拭して正しい認識をしてまいりたいと思っております。

《記者》

具体的にもう今月、来月くらいには。

《二田口市議会議長》

いや、これは市議会として副議長とも相談しながら、日程等は組まさせていただきます、環境省の方に要望していきたいと思えます。

《記者》

千葉市の場合は、環境省の説明を受け入れたあとに、市議会の総意として再協議を求めるということを出したわけですけれども、市原市の場合は市議会の総意みたいなものを取りまとめるお考えというのはいかがでしょうか。

《二田口市議会議長》

それはやっぱり、最初にまず説明を受けてみないと、議員の皆さんがどういう判断をされるかということについては、まず説明を受けてからというように考えております。

《記者》

現時点でのスタンスというのは先ほど市長がお話されたように、市議会も足並みを揃えていると考えてよろしいでしょうか。

《二田口市議会議長》

説明をまず受けてからということですね。

《記者》

今現在という意味ではいかがでしょうか。説明を受ける前の今現在で言うと。市議会としてのスタンスというのは。

《二田口市議会議長》

今日は代表で受けさせていただいたので、議員全員で聞いたうえで判断していきたいと思います。

《記者》

市長にも伺いますが、建設の同意なんですけれども、千葉市は地元なので当

然として、市原市にも同意を求めてほしいという立場でしょうか。

《小出市長》

そうですね。これも繰り返しの説明になりますけれども建設予定地が近接している地域にあるということですから、行政界だけの判断では市原市としては到底納得はできないという思いがありますので、これについては引き続き、そういう対応をとっていきたいと思っております。